科目名 (Eng)	プログラミング基礎 (Basic Programming)								
担当教員	島村　浩								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報学科	4	前期	必修	2	30	専門	B	○
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-3).(B-4).(D-2).(E-1)								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応:2). 5).								
	JABEE基準1(1)との対応:c, d(3), d(4), g.								
授業の概要と方針	Visual Basic言語を用いて、簡単なプログラムを作成・実行し、プログラミングの基本技術を習得する。								
到達目標	①基本制御構造を理解し、流れ図等で記述できること。 ②配列について理解し、簡単なプログラムが作成できること。								

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
前期	1	プログラミングの基礎(1)	ソフトウェアの種類、OSの種類、言語処理系	情報処理基礎の復習
	2	プログラミングの基礎(2)	基本制御構造、データ構造	
	3	アルゴリズムの基礎(1)	アルゴリズムの記述方法、流れ図	
	4	アルゴリズムの基礎(2)	基本制御構造	
	5	アルゴリズムの基礎(3)	順次(逐次)処理	
	6	アルゴリズムの基礎(4)	選択(分岐)処理	
	7	アルゴリズムの基礎(5)	選択(分岐)処理	
	8	アルゴリズムの基礎(6)	選択(分岐)処理	
	9	アルゴリズムの基礎(7)	反復(繰り返し)処理	
	10	アルゴリズムの基礎(8)	反復(繰り返し)処理	
	11	アルゴリズムの基礎(9)	反復(繰り返し)処理	
	12	アルゴリズムの基礎(10)	反復(繰り返し)処理	
	13	データ構造の基礎(1)	1次元配列	
	14	データ構造の基礎(2)	2次元配列	
	15	データ構造の基礎(3)、まとめ	配列のまとめ、期末試験の解説	

試験について	中間試験は、共通科目試験日に50分間の試験を実施する。期末試験は、50分の試験を実施する。再試験受験資格については、50点以上とする。
評価方法	定期試験の成績70%、課題・レポート30%で評価する。
教科書	エンジニアのためのプログラミング入門、ーVB.NETによるプログラミングの基礎ー、大槻正伸、電気書院
参考書	実習 Visual Basic.NET　ーだれでもわかるプログラミングー、林直嗣、サイエンス社
関連科目	プログラミング演習
履修上の注意	自分の頭でよく考えて、実際にコンピュータで動かしてみることが大事である。 自学自習の課題等については、放課後等を利用して、真摯に取り組む姿勢が求められる。